

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡・紫波地区環境施設組合事務事業			事業コード	0266
担当課等	所属名	環境部 廃棄物対策課	担当係名		
	課長名	千葉 良高	担当者名	佐藤 奈都美	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 1目 一部事務組合負担金(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和43年度～)		
事務事業の概要	盛岡市(都南地域)、矢巾町及び紫波町で構成する盛岡・紫波地区環境施設組合(一部事務組合)に対し、構成市として負担金を納入するとともに、構成市町と組合の事業運営を協議し、区域内の一般廃棄物の適正処理を図る。					
根拠法令等	地方自治法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第4条)、盛岡・紫波地区環境施設組合同規約					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡・紫波地区環境施設組合は、合併前の旧都南村において廃棄物(し尿を除く)の処理を行うため、昭和43年2月に設立した一部事務組合である。平成4年に都南村が盛岡市と合併して現在に至る。組合の運営管理費は構成市町が応分の負担をしている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
廃棄物を適正に処理することや廃棄物の発生抑制、減量及び資源化を推進することなどについての意見等が出ている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどのように変化したか。今後の見通しはどうか						
循環型社会の構築に向け、各種リサイクル法等が整備されており、廃棄物行政は大きく変動している。また、平成22年8月からは、プラスチック製容器包装及び紙製容器包装の分別収集・処理を開始しており、組合内での一層の連携が必要となっている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①盛岡・紫波地区環境施設組合(一部事務組合) ②都南地域で家庭系一般廃棄物を排出する者 ③都南地域で事業系一般廃棄物を排出する者(事業所) ④盛岡地域で家庭系一般廃棄物(プラスチック製・紙製容器包装に限る)を排出する者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡・紫波地区環境施設組合 B. 都南地域の人口 C. 都南地域の事業所数	単位 組合 人 所
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①組合構成市として事務担当者会議等へ出席し、組合の事業等について構成市と協議した。 ②盛岡地域(プラスチック製・紙製容器包装に限る)及び都南地区から排出された一般廃棄物を適正に処理した。 ③組合運営費の一部を負担した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①組合構成市として事務担当者会議等へ出席し、組合の事業等について関係市と協議する。 ②組合運営費の一部を負担する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 事務局会議等の出席回数 B. 適正に処理された一般廃棄物の総処理量 C. 家庭系一般廃棄物の1人一日当たり排出量((都南地区の家庭系ごみ総量÷人口)÷年間日数)	単位 回 t g
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	組合の事業が適正かつ効率的に運営されることにより、対象である都南地域の廃棄物処理を適正に行う。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 適正に処理された一般廃棄物の割合(適正に処理された一般廃棄物の量÷適正に処理すべき一般廃棄物の量) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位 % 単位 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡・紫波地区環境施設組合	組合	1	1	1	1	1		年度
対象 指標B	都南地域の人口	人	49,548	49,738	49,654	49,953	49,788		年度
対象 指標C	都南地域の事業所数	所	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920		年度
活動 指標A	事務局会議等の出席回数	回	10	35	20	8	8		年度
活動 指標B	適正に処理された一般廃棄物の総処理量	t	18,021	17,733	17,620	18,078	17,737		年度
活動 指標C	家庭系一般廃棄物の1人一日当たり排出量((都南地区の家庭系ごみ総量÷人口)÷年間日数)	g	608	624	620	611	608		年度
成果 指標A	適正に処理された一般廃棄物の割合(適正に処理された一般廃棄物の量÷適正に処理すべき一般廃棄物の量)	%	100	100	100	100			年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	599,953	658,843	742,661	713,479	741,444		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	599,953	634,792	715,384	686,061	741,444	0	*****
	⑧その他	千円		24,051	27,277	27,418			*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	599,953	658,843	742,661	713,479	741,444		*****
	延べ業務時間数	時間	150	450	300	300	250		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	600	1,800	1,200	1,200	1,000	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	600,553	660,643	743,861	714,679	742,444	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 当組合が適正かつ効率的に運営されるよう働きかけることにより、一般廃棄物の適正処理が推進され、生活環境の保全に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 組合事業が適正に執行されるよう働きかけることにより、生活環境の保全や経費の削減が見込まれる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 廃棄物の適正処理ができなくなり、廃止・休止はできない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 岩手・玉山環境組合事務事業、市クリーンセンター等の市一般廃棄物処理施設事務事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 将来のごみ処理広域化に向け、関係団体と協議を行っているが、現時点では、各一般廃棄物処理施設は、地域内の人口を基に施設整備・運営を行っているため統合は困難である。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 構成市として、組合事業運営の効率化を働きかけることで、市負担金等の事業費削減を図ることが可能である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 市の担当者は1人であり、業務の大半は会議等の出席時間であることなど、必要最低限度の人員・時間で行っていることから、人件費の削減は困難である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 対象地区の市民が搬出するごみについては、定期的に収集しており、受益機会は公平である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益者負担の観点から、ごみ処理経費(処理手数料等)の適切な負担のあり方について検討する余地がある。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 組合の事業をより適正かつ効率的に運営していく。また、平成22年8月から、新たにプラスチック製容器包装及び紙製容器包装の分別収集・処理を盛岡市(盛岡地域)を含めて実施しているが、組合及び構成町と連携して分別啓発・指導を徹底し、さらに適正かつ効率的に収集及び処理をしていく必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) より一層の効率的な運営に向けて、組合会議において構成市町の意識統一を働きかける。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ○ 妥当 ● 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>組合の適正な運営について事務局会議等で協議を行なった。平成22年度に容器包装リサイクル推進施設が整備されたことから、なお一層の効率的な運営を進めるため、構成町と協議していく必要がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>一部事務組合の運営事務であることから現状維持とする。容器包装リサイクル推進施設が整備されたことから、なお一層の効率的な運営を進めるため、構成町との協議を行なっていく。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								